

学校便りNo.3

南山の風

令和6年6月28日（金）
糸満市立高嶺中学校 校長

考え議論する授業を



業づく6月10日、道徳の授
 成修をりについた。校内
 とし。年か位置づけられた
 道徳。先生方は「生徒
 が考え、議論する」教
 業を目標にします。教科
 書が題材に触れて、自
 分がどう考え、自分で
 分と違うかなど、考
 どう思うかなど、考
 を深め、広げる活動が
 なされる道徳授業を模
 索します。

生徒会総会開催
6月14日、生徒会総会が行われました。生徒会役員と各委員会の長が中心となり、計画、準備がなされました。総会の役割や意義を学んでもらうために各学級では、事前総会資料の内容について確認しながら理解を深めるための質疑の準備がなされました。

総会の冒頭、参加者全員で生徒会総会の目的が確認され、参加者の意識が高められました。選出された議長によって審議された議案は5つ。令和5年度の活動報告がなされた場面では予定されていた活動が未実施となつた理由などについて質疑応答がなされました。また和6年度の計画案の審議では生徒会行事の日程や内容について質疑があり、執行部からは3年生の受験勉強に支障がないような配慮をしたいとの答弁がありました。

これらに加えて、今年度の生徒総会では本校の特色ある取り組みである「ゴールデンタイム」（朝

自主自立を学ぶ



ゴールデンタイムの提案

の個人裁量の時間）を有
 の意義にし、生徒一人一人
 のより高いもの、しようにと
 の提案がなされた。生徒提
 生徒個々が自分のために
 使える貴重な時間を使うと
 の成長のため、使おうと
 の提案となり、使おうと
 の年度の生徒会役員が“今
 り良い高嶺中学校”を築
 こうとする思いが感じら
 れた提案となりました。
 の生徒会活動は、学校生活
 の充実・向上のために生活
 の徒が自主的に取り組みも
 のとして学習指導要領に
 盛り込まれています。自ら
 分の成長のために自ら実
 践できる生徒になっても
 らいたいと思います。

のに6月4日全校生徒並び
 会「先生方を対象に進路学
 校から開催し、進路比較
 的多に各県立高校の先生
 けた、各自の進路選択に
 活かして、分のおうと企
 されまし。

は今年度お招きしたの
 校行事や部活動の実績等
 の紹介により各校の生徒
 の紹介の様子や学校の雰
 徒の伝わりやすさ、雰囲気
 が実際、学習科目や実習
 た目、取得可能な資格等
 の科目、取得可能な資格等
 の紹介、これから各々の
 就くことに将来どの様な
 知ることをできるのかも
 先生説明をうける。

材を育てたい、こんな人
 側面から「入学者に希望
 中学校生活の入り方」

高校を知ろう

本校でも慰霊の日が迫るこの時期は沖縄戦やその関連を題材にして平和について考える取組を行います。6月12日、修学旅行などの教育旅行で平和学習をサポートする(株)さびら様からフアシリテーターをお招きして平和講演会を開催しました。

講話では、沖縄戦でどこで何が起きたのかを時系列で追いかけるながら、「米軍はなぜ無血上陸できたのだろう?」という質問で日本軍にとつての沖縄戦の位置づけについて学びました。また、「君なら沖縄本島の南北どちらに逃げますか?」などの質問により、当時の民間人に自分を重ねて考えてもらうような活動が行われました。

生徒からは「沖縄戦が本

沖縄戦の史実を知る



など中学生期に整えておきたい素養などもお話したいだき、高校入学に向けた心の準備についても教えていただきます。

生徒の皆さんはメモを取りながら、特に3月に受験を迎える3年生は真剣に聞き入っていました。各高校が生徒のニーズに応えられる工夫をなさっておられる様子がうかがえました。



土決戦まで。時間かせぎと
初め知った。今年の慰霊の
日は今日学んだことを考え
ながら黙とうしたいと思っ
た。「戦争の話はたくさん
聞いて勉強しておいた方が
いいと思っただ。」等々感
が寄せられ、生徒達に何か
を考へるきつかけを与えて
くれた貴重な講話であつた
ようです。

6月5日、2学年生徒と西崎特別支援学校の生徒並びに先生方との交流学習が行われました。特別支援学校で学ぶ同年代生徒との交流を通して他者のことを考え適切に行動することを学ぶ機会です。

生徒の進行による開会式では両校から「会えること、楽しむにしている。互いに理解を深めましょう。」とあいさつが交わされました。続いて行われたレクでは新聞紙で作るロープの長さを競い合ったり、新聞紙を破らない気配りが付加されたリレー競技が行われました。互いに言葉を交わすことや、気配りをするものが求められる活動でしたが、

相互理解学ぶ

に梅の塔
白梅のお話
を聞きまし
た。納骨堂
存
在や白梅学
徒隊の恐ろ
しい体験を
あらためて
知ることが
できた。
が分かれて
しまった。
に於いて学
校から徒歩
圏内にあり
慰霊碑を3
箇所選んで
人々に訪ね
ました。祀
られたこと
の地で起き
た悲劇を実
感しました。
平和祈念公
園に赴き資
料館の内容
を再確認し
ました。だ
れも修学旅
行で予定さ
れていない
10月の長崎
原爆資料館
見学に繋ぐ
学習です。

6月21日、各学年が地域の戦跡を訪ねる体験学習を行いました。先に行った平和講演会と併せて学習を深める取組です。

高嶺中学校の周辺地域に点在する沖縄戦にまつわる慰霊碑の存在を知り、この地で起きた悲劇を再確認しました。

戦跡をとおして

7月行事予定

5日 金	校内スポレク大会(PM)
9日 火	職業人講話(2学年)
16日 火	大掃除(ジャージ登校)
19日 金	一学期終業式(給食あり)
29日 月	三者面談(～31日)

新型コロナウイルス感染者が増えています。感染予防を今一度お願いします。



両校生徒が楽しそうに取り組めました。相互理解の大切さを学ぶとても良い機会になりました。



え、それぞれの生徒がこの日の体験学習を通して沖縄戦への理解を深めるとともに、平和の意味をさらに深く考え、広く世界中の平和について考えるきっかけにしてください。と思います。

西崎特別支援学校との交流会 感想

2年 平田彩優海
今日は、西崎特別支援学校の中学1、2年生を招き交流会をやりました。
私は、どんな人達が来るんだろうと思ひ今日の交流会を楽しみにしていました。
実際に会ってみたら、話すのが苦手な子だったり、落ちつきがない子などがいました。
それを見て私は、不安に思ったけど、いざ始まったら西特の生徒の皆さんが積極的に動いてくれて、私は、自分ができることを見つけてことができました。それを感じることができたのは新聞をつなげてロープを作る時です。そこで一番協力できたのではないかと思いました。
今回、交流会をやってみて思ったのは、たとえ耳が聞こえなくても、体が不自由でも、協力し合い互いに互いを理解し合えば、誰でも楽しく募らせると思いました。それは国境や人種を超えてもです。皆が理解し合い互いに認め合えば、もっと、もっと暮らしやすい社会になっていくのではないのでしょうか。

2年 玉城美海
今日の3校時に西崎特別支援学校の人たちがきてくれました、私はその中で印象に残ったことが3つあります。1つ目は紹介のときです。みんな他の中学校にきて緊張しているはずなのにハキハキと大きな声で自己紹介してるのを見て私も見ならおうと思ひました。2つ目は新聞を丸めて長さをだすゲームです。みんな積極的に新聞を丸めていてすごいなと思ひました、3つ目は新聞リレーです。私は走るのがきらいですがみんなと走るのは楽しかったです。またやりたいと思ひました。私は今回ぜんぜん話かけることができなかったので次また機会があればもっと仲良くしたいです。今回の学習を通してしようにがい者に対するへんけんがなくなつたと思ひます。しようにがいがあつてもなくてもみんな同じ人間なのでこれからはどんな仲よくしていききたいです。

2年 玉城彩
六月五日に西崎特別支援学校と交流会をしました。4つのチームに分かれ、2つのゲームをしました。
1つ目のゲームは新聞でロープを作りました。つなげるところをねじったり結んだりし、最後に持ち上げて10秒くずれなければ成切だったけどと中でちぎれて失敗してしまいました。2つ目のゲームは新聞運びリレーです。4人

一組で新聞を持ち。リレーをしました。最後のグループがゴールしたときは盛り上がりました。

中には話すのが苦手な子や動くのが苦手な子もいたけど、みんな積極的に関わりについて、一時間で手をつないだり名前を呼んだりしている人もいました。初めての体験で心配もあつたけど、とても良い体験ができて良かったです。

2年 金城歩夢
今日、西崎特別支援学校との交流会をしました。思つたより人がいっぱいいてちよつと緊張しました。

まず、自己紹介をしてみんなの好きな食べ物や、好きなことを知って、その次にみんなで新聞紙を使ってつなげていつてそれで、10秒間保てたグループが勝利というゲームをしました。

この時にみんなで仲良くゲームに取り組むことができました。

最後に、また新聞紙を使ったリレーをしました。新聞紙を4人で持ちながらみんなでゴールを目指しました。

とても、明るくて可愛い子やしずかめな子もいてみんな個性があつていいなと思ひました。今日は、こんな体験ができてとてもよかったです。しめちやくちや楽しかったです。

高校の先生に学ぶ進路学習会 感想

1年 上原花
それぞれの高校の先生の話を聞いてすごく高校に興味がありました。とくに印象に残つたのは向陽高校の先生の話しでした。向陽高校では、ダンスやファッションショーなどいろんなイベントがあつて楽しそうだなと思ひました。また、学力の面でも国公立進学が3位というのもすごいなと思ひました。そんな話を聞いて、私も高嶺中学校の3年間を無駄にしないように、勉強や部活をがんばりたいと思ひました。また、学校生活以外でも色んなことに好奇心を持つて自分の視野を広げていききたいと思ひました。

1年 中村竜基
自分は糸満高校に行く予定でした。ですが、當間先生の説明で、さらに糸満高校が楽しそうだなと思ひました。
もしかしたら別の学校に行くかもしれないですが、自分は糸満高校で楽しい3年間を過ごしたいです。進路学習会をしてくださりありがとうございました。

ございました。

1年 玉城ゆりな
今日は私たちのために、講話をしてくれて、ありがとうございました。私は今まで、工業系の学校にはいつさい興味がありませんでした。でも、アンパンマン号の話がとても分かりやすく、おもしろくて少し興味がわきました。他にも、とても大きな音の正体が何か分からず、南部工業に行ったらわかるのかなと思ひ、行つてみたいと思ひました。今回の講話で視野がとても広がりました。ありがとうございました。

1年 新城安翔
今日は、忙しい中、講話をしに来て下さつてありがとうございました。ぼくは、沖水に興味を持っていました。さらに、今日講話を聞いていろいろなることを知りました。特に高嶺中から13人行つて総合学科に160名いること、就職では、沖水しか行けない就職先があると分かりました。ぼくは、沖水に入り海洋サイエンス科でがんばりたいです。なので今日話してもれつたことを忘れずに覚えて入学すると思うのでまづいてください、今日はありがとうございました。

平和体験学習会 感想

3年 高江洲帆果
私は、六月二十一日、平和体験学習で平和祈念資料館に行きました。
私が印象に残つた言葉は「食料強奪」です。「本兵による住民の食糧強奪が相次ぐ」という資料を見ました。味方の人たちが奪つてくると知り、怖いと思つたし、生きることに精一杯だったのだと感じました。

また、「方言を使う者はスパイとして処分する」という資料も見ました。この資料を見て、危機感を持つて毎日を過ごしていた人たちがどれほどいたのか、改めて分かりました。

私たちが今、たくさん寝て、おいしいご飯を食べている当たり前だと思つてゐる日々が戦身當時は当には当たり前ではなかったのだと実感しました。

沖縄戦体験者が少なくなつてゐる今、私たちが伝えていかなければならないと思ひます。今後、戦争が起きないために、私たち若者の力が必要です。

3年 浦崎珠奈
六月二十一日金曜日、私たち高嶺中学校三年生は、六月二十三日の「慰霊の日」を前に平和

祈念資料館と平和祈念公園に行きました。資料館と公園を見学し、沖縄戦の激戦地であつた自分たちの故郷と歴史に関心を持ち、平和の尊さについて考えました。

資料館では、1階と2階を回り、沖縄戦で使われた道具や自決のために使われた薬、戦争中の映像を見ました。

公園では平和式典ゾーンを回り、平和の火や平和の丘を見学したりしました。

私が一番印象に残つたことは、「生活必需品は配給制」ということです。戦争中は、各市町村や学校などに生活必需品を配給していたというのを聞いて、戦争というのは本当に辛いものだと痛感しました。

自分は戦争を経験していないからどうでもいいと思わず、しっかりと沖縄戦についての理解を深めたいと思ひました。

3年 入川結

6月21日、ぼくは、平和祈念資料館に行きました。ぼくが資料館を見て回つて、おどろいたことが一つあります。それは日本沖縄守備軍が首里決戦を避けて南部へ撤退し、出血持久戦をとつたことです。沖縄守備軍は、日本の本島にアメリカ軍の上陸を恐れ準備期間を作るために出血持久戦をとつたと書いていました。しかしその後、米軍の強力な掃討戦により追い詰められ軍民入り乱れた悲惨な戦場と化して、壕の中では日本兵による住民虐殺や、強制による集団死、餓死があり外では、米軍による砲爆撃、火炎放射器などによる殺りくがあつてまさに「地獄」と評されてゐました。ぼくはそれを聞いて、そうだなと思ひました。

今日の平和学習を通して、ぼくは、戦争はやつぱりしてはいけないんだなと思ひました。証言映像なども見ましたが、どれも生々しくて悲しいものばかりでした。この平和学習を通してあらためて平和を考える事ができました。

県大会出場します

先に行われた地区中体連夏季大会を見事に勝ち抜き、ソフトテニス國吉藍・新城佑日ペアが県大会に出場します。ご声援をお願いします。

